

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

大講義室や食堂の吊り天井を耐震化し、学生等の安全確保を図る（埼玉県ふじみ野市）

事業者：学校法人文京学院

大講義室



(対策前)



(対策後)

食堂



(対策前)



(対策後)

対策名：13-1 私立学校施設の耐震化対策



主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 教育・文化等

事業名：文京学院大学ふじみ野キャンパス大講義室、食堂天井落下防止対策

- ポイント**
- 大学の講義室や食堂の吊り天井の耐震対策を実施
 - 地震による吊り天井の落下を防止し、学生等の安全を確保

地域の概要・課題

近年、南海トラフ地震、首都直下型地震等の大規模地震の発生が切迫しています。これらの大規模地震により、大勢の学生等が利用する大講義室や食堂において、吊り天井が落下し、生命に危険を及ぼすおそれがあるため、早急に吊り天井の耐震対策を実施する必要があります。

事業の概要

大勢の学生等が利用する大講義室や食堂の吊り天井について、耐震対策（耐震天井に改修）を実施しました。吊り天井の場合、大規模地震に対しては安全性は十分ではありませんでしたが、改修後は十分な耐震性を確保しました。

大講義室については、建築基準法の特定天井に該当していたため、直天井を支持する鉄骨部材を増設し、特定天井に該当しないよう、ぶどう棚による直天井に改修しました。

高さがわずかに6mを下回り、特定天井に該当しない食堂については、高天井をクリアランスなしの緊結天井に改修し、耐震性を向上させました。

見込まれる効果

首都直下地震等の大規模地震発生時における天井の被害発生を未然に防止することにより、学生等の安全確保が図られました。

2 への転換に向けた老朽化対策

(1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達高度情報の予測、収集・集積